

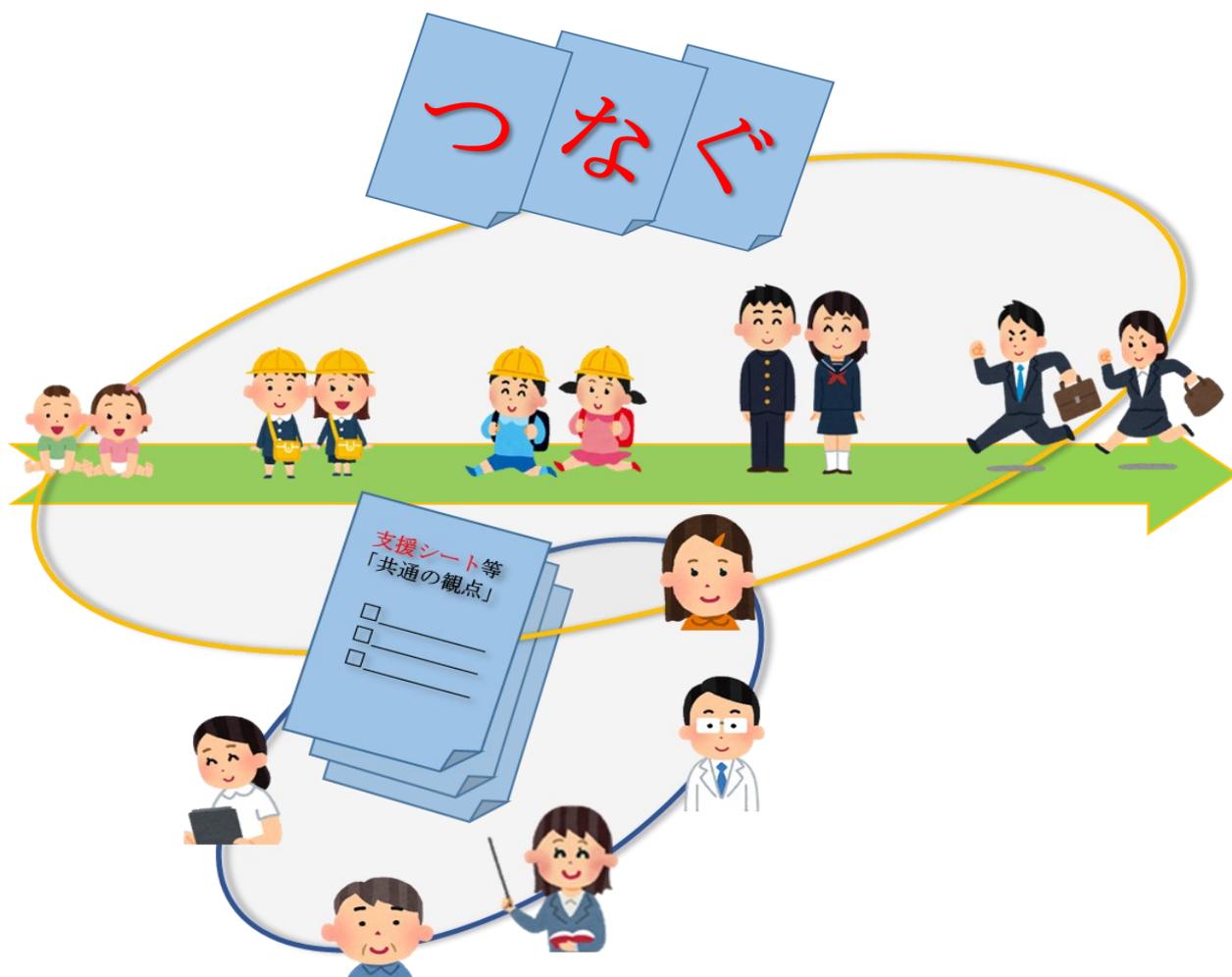


神奈川県

KANAGAWA

# つなぐ 切れ目ない支援

## 「支援シート」の活用

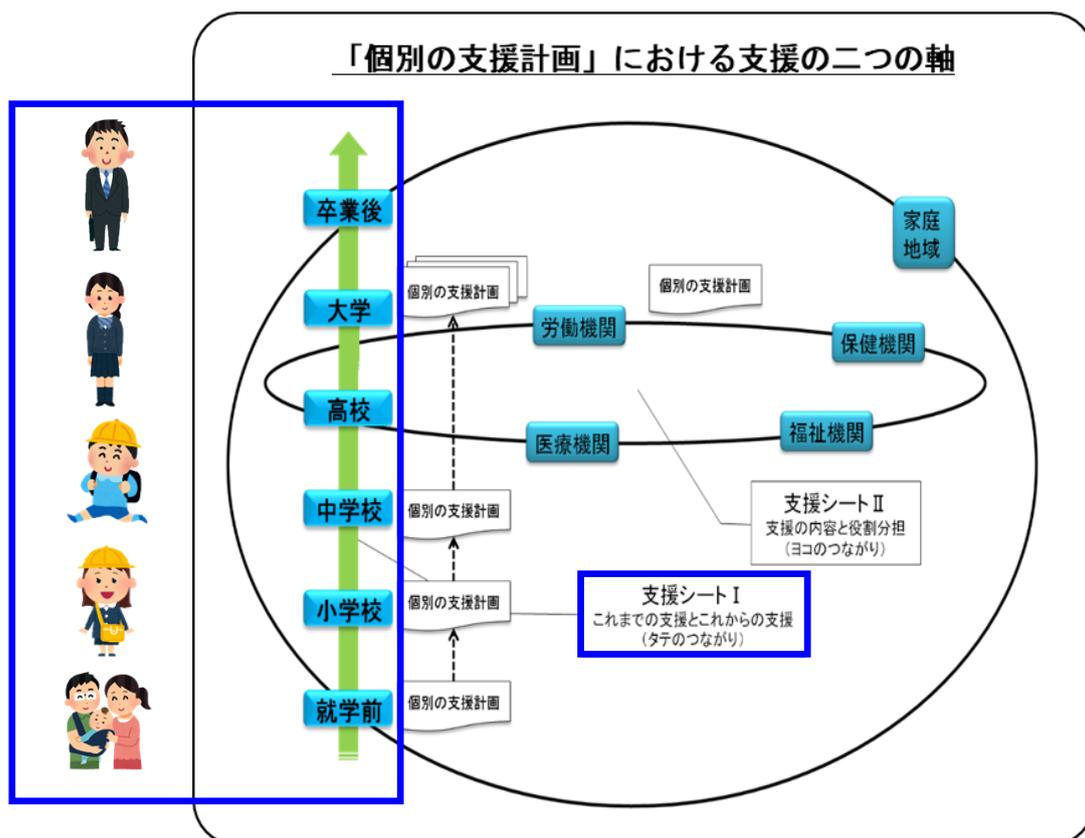


就学前から卒業後にわたり、切れ目ない子どもの学びと成長をつなぐために「支援シート」を活用し、関係機関と連携した円滑な情報の共有、引継ぎをしましょう

神奈川県教育委員会教育局  
支援部 特別支援教育課

## 1 神奈川県「支援シート」（個別の支援計画）って・・・

神奈川県では、支援が必要な子ども一人ひとりに、成長の過程をたどるライフステージに沿った所属機関における支援（タテのつながり軸）と、教育、保健、医療、福祉、労働等の諸機関の連携（ヨコのつながり軸）による支援というタテ・ヨコの二つの軸で整理した、簡便な書式である「支援シート」を連携のツールとして導入しています。



### 「支援シート」を活用する必要性

- 安心して学校や卒業後の生活を送ることができるよう支援をつなぐことが大切です。
- 支援をつなぐためには、子どもへの必要な支援の在り方などの情報（「支援シート」など）が共有され、関係者間で共通理解されることが重要です。
- 「支援シート」を活用することで、子どもたちが安心して学び、成長していくことをみんなで支援していきましょう。

### かながわの支援教育とは

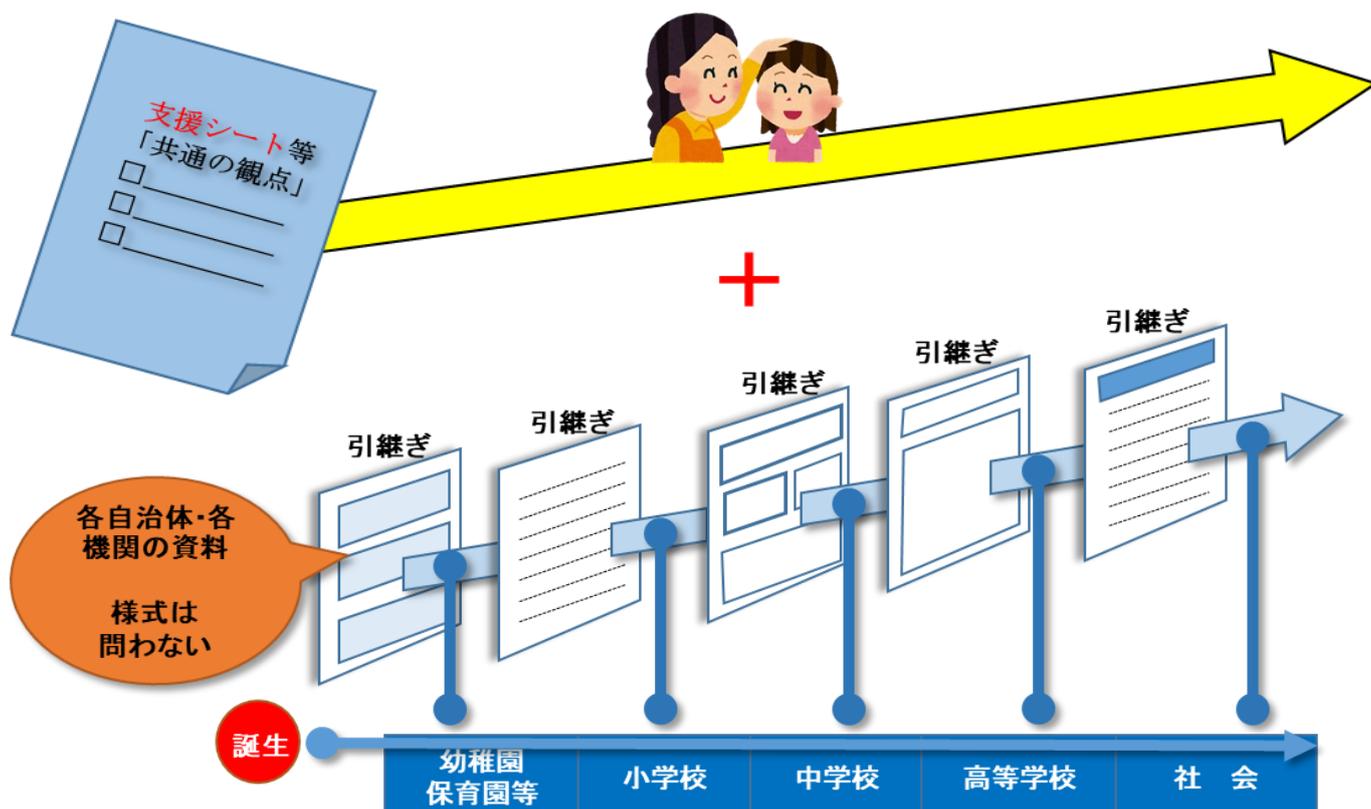
障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもたち一人ひとりが持つ自らの力では解決できない困難なことを「教育的ニーズ」として捉え、それぞれの子どもたちに応じた働きかけをする教育を神奈川県では「支援教育」としています。

## 2 共通の観点（例）を用いた支援シートの活用について

支援シートは、4つの項目（所属機関、家庭生活、余暇・地域生活、健康・安全・相談）について記述し活用されてきましたが、どのような内容を書いてよいか分かりづらいという声もありました。そこで、全ての人の生活や発達の状態を表す共通の言葉として開発されたICF（国際生活機能分類）を参考にして作られたWHODAS 2.0という評価をもとに、より書きやすくするための共通の観点（例）を作成しました。

## 3 所属機関の連携による支援

- 一人ひとりの生活やライフステージに沿ってみると、就学前の幼稚園、保育所、通所施設、療育センター等から小・中・高等学校等、特別支援学校、大学等、就労先に至る所属機関の移行があることが分かります。
- 各機関がそれぞれに対応するのではなく、指導や支援の情報などを引き継ぎながら一貫した支援をするために支援シートを使って各機関の連携を図ります。



## 4 ICF (WHODAS 2.0) を活用した「支援シート」 (例)

「支援シート」を共通の観点(例)でつくることのメリット

- ① 共通の観点(例)を設けることで内容が整理され書きやすい。
- ② 発達段階に応じて分けて書くことでポイントを整理しやすい。
- ③ 連携する支援者が情報を共有しやすい。



(例) 中学校 → 特別支援学校(高等部)の場合

### 支援シート I これまでの支援 これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
かながわ けんたろう 神奈川 健太郎	〇〇中学校 ↓ 〇〇支援学校	令和2年 1月23日	担任 (●●● □□□) 保護者 (◎◎◎)

\*記入者には○印をつける

	項目	内容
これまでの取組	所属機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や大きな集団だと一斉指示を理解することは難しいので、少人数や一対一で指示を出すようにしていた。(会話について)</li> <li>・緊張感が強く、たびたび腹痛を起こすことがあるので、一人になれる空間を用意し、心の安定を図っていた。(人間関係・コミュニケーション)</li> <li>・興味関心のあること(鉄道など)を話題に、積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いてきた。</li> <li>・見通しが持てるように、事前に指示を出していた。(落ち着いた生活)</li> </ul>
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替え、トイレなど一人で行える。(身辺自立)</li> <li>・お手伝いをしてもらう時には、事前に約束をしていた。(家庭生活)</li> <li>・家庭で過ごす際は、突然の予定が入ると、落ち着かなくなる。落ち着かなかった場合は自分の部屋で一人にすることで切り替えて過ごすこともある。(家庭生活での課題)</li> </ul>
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳を習っており、公共交通機関を使い一人で通っている。(地域)</li> <li>・時間がある時は、音楽を聴いたり動画サイトを見たりしている。(余暇)</li> </ul>
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の怪我や病気について、痛い等自分から伝えることが難しい。(健康)</li> <li>・困ったときに相談することは難しいが、言葉かけがあることで、困っていることを伝えることができることもある。(困ったときの対応)</li> </ul>

これまでの取組の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・生活面</li> </ul> (実態に応じた内容を記載)	これまでの取組の評価を本人の特性に応じて記入する。 (有効な支援方法が具体的に記載され、これからの計画に繋がる内容等を記載)

これからの計画	これからの方針	
	所属機関	
	家庭生活	
	余暇・地域生活 卒業後の生活	
	健康・安全・相談	

## 共通の観点（例）＜就学前から小学校・小学部＞



	項目	共通の観点
これまでの取組	所属機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きはどのくらいできますか</li> <li>・みんなが言っていることはどのくらい理解できますか</li> <li>・日常の会話はどのくらいできますか</li> <li>・年齢相当の活動はどのくらいできますか</li> <li>・どんな遊びや活動が続けてできますか</li> <li>・みんなと一緒に遊ぶことはどのくらいできますか</li> <li>・体の動きはどのような様子ですか</li> </ul>
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の中で何をして過ごしますか</li> <li>・外出はどのくらいできますか</li> <li>・約束などはどのくらい覚えていますか</li> <li>・一人でどのくらい体を洗えますか</li> <li>・一人で着替えることはどのくらいできますか</li> <li>・一人で食事はどのくらいできますか</li> <li>・一人でどのくらい過ごせますか</li> <li>・排泄はどのように行っていますか</li> </ul>
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人とどのように接していますか</li> <li>・地域の資源をどのように使っていますか</li> </ul>
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康面で心配なことは何ですか</li> <li>・病気（体調が悪い時）など困った時に自分から相談などができますか</li> </ul>

## 共通の観点（例）＜小学校・小学部から中学校・中学部＞



	項目	共通の観点
これまでの取組	所属機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書き計算するなどの学習はどのくらいできますか</li> <li>・みんなが言っていることはどのくらい理解できますか</li> <li>・日常の会話はどのくらいできますか</li> <li>・新しい友人を作ったり仲良く過ごしたりすることができますか</li> <li>・どんな遊びや活動が続けてできますか</li> <li>・決められたことをどのくらい行えますか</li> <li>・初めて行く場所でも落ち着いて過ごせますか</li> <li>・歩行や移動をどのように行っていますか</li> </ul>
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でどのくらい体を洗えますか</li> <li>・一人で着替えることはどのくらいできますか</li> <li>・一人で食事はどのくらいできますか</li> <li>・排泄はどのように行っていますか</li> <li>・一人でどのくらい過ごせますか</li> <li>・お願いされた手伝いをどのくらいできますか</li> </ul>
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人とどのように接していますか</li> <li>・地域の資源をどのように使っていますか</li> </ul>
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と一緒に病院へ行くことができますか</li> <li>・病気（体調が悪い時）など困った時に自分から相談ができますか</li> </ul>

## 共通の観点（例）＜中学校・中学部から高等学校・高等部＞



	項目	共通の観点
これまでの取組	所属機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習の状況はどの程度ですか</li> <li>• みんなが言っていることをどの程度理解して活動できますか</li> <li>• 日常の会話はどの程度できますか</li> <li>• 良好な人間関係を保てますか</li> <li>• 自らの行動等を振り返り、適切に解決できますか</li> <li>• 気持ちの調整をしながら過ごすことができますか</li> </ul>
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身の回りのことをどの程度できますか、支援が必要なことは何ですか</li> <li>• 一人でのくらの範囲、またどのようにして目的地まで行けますか</li> <li>• 自分でリラックスすることや楽しむことはどの程度できますか</li> <li>• 家庭で過ごす中での課題は何ですか</li> <li>• 家事はどの程度できますか</li> </ul>
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の人との交流や地域活動への参加などはどの程度できますか</li> <li>• 地域の資源をどのように使っていますか</li> <li>• 余暇をどのように過ごしていますか</li> </ul>
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体調が悪い時、どの程度対応できますか</li> <li>• どの程度安全に行動できますか</li> <li>• 困ったときに自分からどの程度相談できますか</li> </ul>

## 共通の観点（例）＜高等学校・高等部から卒業後＞



	項目	共通の観点
これまでの取組	所属機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習の状況はどの程度ですか</li> <li>• みんなが言っていることはどの程度理解して活動ができますか</li> <li>• 日常の会話はどの程度できますか</li> <li>• 良好な人間関係をどのように保てますか</li> <li>• 自らの行動等を振り返り、適切に解決できますか</li> <li>• 気持ちの整理をしながら過ごすことができますか</li> <li>• 状況に応じた対応（余暇と仕事など）はどの程度できますか</li> </ul>
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身の周りのことをどの程度自分でできますか</li> <li>• 目的地まで行く方法を考えることができますか</li> <li>• 自分に合った家庭での過ごし方を考えて生活できますか</li> <li>• 家庭で過ごす中での課題は何ですか</li> <li>• 家事はどの程度できますか</li> </ul>
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の人との交流や地域活動への参加などはどの程度できますか</li> <li>• 地域の資源をどのように使っていますか</li> <li>• 余暇をどのように過ごしていますか</li> </ul>
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体調が悪い時、適切な対応ができますか</li> <li>• 自律した行動ができますか</li> <li>• 困ったときに自分から相談ができますか</li> </ul>

### Q1 何のためにつくるのでしょうか？

支援を必要とする幼児・児童・生徒を継続的に支援するには、本人、保護者、学校等が連携することが不可欠です。そのためには支援シートを作成し、活用することが有効です。支援シートには、支援を必要とする幼児・児童・生徒への支援内容、支援の過程や今後の方針を記載します。

### Q2 いつどうやってつくるのでしょうか？

作成時期は、入学前後など支援の引継ぎが必要なタイミングで作成します。

書式については、学校や各市町村教育委員会にお問い合わせください。また、県教育委員会のホームページからもダウンロードできます。作成に当たっては、下記のURLを参照し作成したり、在籍する学校等に相談したりしてください。

URL:<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/hk2/cnt/f6722>

### Q3 誰が保管するのでしょうか？

支援シートは、本人・保護者と学校等と一緒に作成し、本人・保護者が保管します。

各所属の学校等が支援シートをコピーして保管する場合は、本人・保護者の了承を得ることが必要です。

### Q4 なぜ支援の情報を引き継ぐことが必要なのでしょうか？

幼児・児童・生徒の状態、特性、教育的ニーズ、生活上や学習上の必要な支援等を学校等が事前に把握することが、円滑な教育・指導・支援につながります。そのためには、それぞれの教育・生活の場で蓄積された情報を共有することが有効です。このように情報の共有や伝達が関係者間で行われることによって、本人及び保護者が安心して学校生活等を送れることにつながります。

### Q5 「支援シート」の作り方がわからない場合、誰に相談すればいいのですか？

神奈川県では、平成16年度より教育相談コーディネーターの養成を行っています。現在、県内の公立小・中学校、高等学校の全ての学校に教育相談コーディネーターがいます。この教育相談コーディネーターの先生等に相談しましょう。

また、県立特別支援学校には、地域支援担当教諭がいますので、相談してください。県立総合教育センター内の教育相談センターでも相談をすることができます。

### Q6 「支援シート」は、保護者にとってどのようなメリットがありますか？

保護者は、本人を一番よく知っている身近で重要なチームの一員として「支援シート」の作成に参加します。

他の支援者と生活上や学習上の必要な支援はもとより、家庭への支援も一緒に考えることができます。

同時に、保護者の役割も明確になります。支援するチームで情報を共有することで、本人が安心して学校生活等を送れることにつながります。



### 学校教育や家庭教育、子どもの発達等に関する相談窓口

名称	内容	問合せ先
県立総合教育センター (教育相談センター)	学校教育や家庭教育に関するさまざまな事柄や悩み事、障がいをはじめとして特別な支援を必要とする児童・生徒に係る学校教育や家庭教育についての相談したいとき	URL : <a href="https://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Qnavi/soudanQnavi/">https://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Qnavi/soudanQnavi/</a> 電話 : 0466-81-0185

### 障がい児・者の子育てに関する相談窓口（福祉サービスを含む）

名称	内容	問合せ先
神奈川県障がい児者のための制度案内	障がい児者に関わる各種福祉制度等について見たいとき、原則として平成 30 年 4 月 1 日現在の情報を掲載しています	URL : <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f4038/">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f4038/</a>
各市町村障がい福祉関係	障がい児者を対象としたサービスに関して保健センター・各福祉事務所・各担当課を知りたいとき	URL : <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/madoguchi.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/madoguchi.html</a>
障害福祉情報サービスかながわ	県の行政文書、指定障害福祉サービス事業所及び相談支援事業所の一覧、障害福祉サービスガイドについて知りたいとき	URL : <a href="https://www.rakuraku.or.jp/">https://www.rakuraku.or.jp/</a>

### 就学指導や教育内容について

名称	内容	問合せ先
神奈川県教育委員会教育局支援部特別支援教育課	特別支援教育に関することを聞きたいとき	URL : <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/menu/3/10/57/index.html">https://www.pref.kanagawa.jp/menu/3/10/57/index.html</a> 電話 : 045-210-1111 (代表)
各市町村教育委員会 特別支援教育所管課	特別支援教育に関することを聞きたいとき	URL : <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/faq/p3684.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u5t/faq/p3684.html</a>

### 就労に関する相談窓口

名称	内容	問合せ先
ハローワーク（公共職業安定所）一覧	自分に合った仕事を探すとき、障がい者雇用について相談したいとき（専門援助部門へ）	URL : <a href="https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-hellowork/list.html">https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-hellowork/list.html</a>
地域若者サポートステーション	働くことの様々な悩みを抱えている方の職業自立に向けて、多様な支援について知りたいとき	URL : <a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p471988.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p471988.html</a>

教育支援体制整備事業  
(切れ目ない支援体制整備充実事業)  
令和 2 年 3 月

この報告書は神奈川県教育委員会のホームページより、ダウンロードできます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/hk2/cnt/f6722/index.html>



神奈川県

教育委員会教育局支援部特別支援教育課  
横浜市中区日本大通33  
電話 : 045-210-1111 (代表) 内線8276 FAX 045-210-8939